

「生徒をどう育てるのか。生徒がどう育つのか」

1月18日(金)第39回教育実践交流会

「忘れずに引き継ぐ～法政二中高社会科学・歴史研究部の取り組み～」

遠山耕平先生（法政二中高）

1月18日（金）、第39回教育実践交流会を7職場16名の参加でおこないました。遠山先生の部の活動報告の後に、遠山先生として今の「教育づくり」についての問題意識も出され、参加者や各学校での取り組みが交流され、非常に有意義な会となりました。その一番の議論の柱は、「生徒をどう育てるのか。生徒がどう育つのか。」、各学校でその辺の議論がどのようになっているのか、ということでした。時間をオーバーするほど発な議論が進みました。

教科で深く討論しながら授業できる環境がうらやましく思いました。高文連でいつもお会いしている遠山先生のお話をきけてよかったです。部員がなかなか集まらない部活をかかえるのは同じ悩みです。何とか部員を集めたいものです。

このようにざっくばらんに話し合える機会は本当に貴重だと思います。今後も機会があれば参加していきたいです。勉強になりました。



途中からの参加でしたが、それでも大変面白かったです。今年度中学3年生の歴史を担当していますが、研修旅行で広島に行った際、被爆者の方の話を聞けなかった、と戻ってきた中3生に聞きました。戦争体験を語れる人が少なくなっていると言われていた時代の中で、戦中の体験をいかに語り継ぐかを本格的に考えていかないといけないと思いました。

「継続は力なり」と言いますが、社会科学・歴史研究部の戦争に関わる取り組みはすばらしいと思います。今回の「登戸研究所」も元所員の人から高1、15歳の部員が直接聞き取りをするなどクラブ活動とは言え、正に生きた歴史教育そのものであると感じました。元所員の方々にコンタクトをとり、聞き取りの理解をとりつけることができるのは部としての歴史と実績があってこそ可能なことだと思いますが、今の中高生がそれを受け継いでいくことに大きな意義があると思います。

お知らせ

教研集会や学習会をお知らせします！

●1月26・27日（金・土）9:00～
第22次（通算56次）旭丘全学教育研究集会

場所：旭丘高校第1校地（小田原駅徒歩5分）

組合主催から数えると56年間続いている歴史ある教育研究集会です。26日は11の教科（分野）の公開研究授業と合評会、27日総合学科インターンシップの学習発表会と記念講演・シンポジウムです。

●3月18日（日）13:00～
関東ブロック春一番教研

場所：自由の森学園

<今後の予定> **実践報告レポート大募集中！！**

○第40回：2月16日（金）：新学習指導要領と教育づくり⑤

時間はいずれも19:00～、場所は神奈川私教連本部の予定です。